



山内 松村如洋 発行
昭和37年1月1日
NO. 100



市長 山内 譲

市民のみなさん、あけましておめでとございませう。昨秋、みなさんの御支援によりまして市長に就任させていた

だき、ここに初めて新年を迎えまして、親しく皆さんに新春のごあいさつを申し上げることは、わたくしの大きな喜びであります。本紙で就任のごあいさつにも申し上げましたとおり、わたくしは



議長 平井 彦五郎

市民のみなさん、新年あけましておめでとございませう。わたくしたちの勝山市も、市制以来、はやくも九年目を迎え、地道ながらも年々、発展しつつありますことはまことに喜ばしいこと

であります。とくに、みなさんの代表であるわたくしたち議員にとりましてはまた、格別であります。その反面その責任の重大さを痛感し、ことしも、よりいっそう、市民のみなさんのために、よき通良としてご奉公させていただきますつもりです。何卒、よろしくお願い申し上げます。

あくまで人々の善意を信頼し、良識に基づいた市政をおしすすめていく覚悟であります。また、内外の政治、経済情勢をよく洞察して、当市が他市におくれをとらぬよう、伸び行く勝山を目標に積極的に市の発展策を講じて行きたいと思っております。

もつとも痛感したことは、意外に市の財政が窮乏であるということ。すでに三十七年度で四千四百万にのぼる予算外の負担があり、これを新年度で予算化しますと、大きな新規事業はなか／＼困難なことになると思います。

しかし、事業をやるには、これに伴う財源がなくてはなりません。わたくしが市長に就任して

と申しましたが、どうしてもやらなければならない仕事は、それだけ増えるので、わたくし

新春懷 松村如洋

白銀連峰旭日燦 瀑々龍水洗心身
市民會堂壽春嬉 緊禪新心鵬翼展

作者は、立石の松村寛治先生です。詩の意味は、四方の山の雪が朝日に美しく輝いて、そのを見ながら九頭龍川で身も心も洗って、新しい年を迎えたよろこびを互いにまじえ、かつ祝い合せて、更に大きな目的に向つて市民の責任を果すものではありませんか、という決心を述べたものです。(市教養部長正実)

進歩を示しているものの、なお実施すべき事業も相当多くあり、またこれに関連して、いろいろな問題が生じてくるのが予想されます。そこでわたくしは議員として、あくまで全市民の代表者という自覚のもとに、審議し是々非々主観で、市議会の意思を決定していきたいと考えております。

もちろん、従来もこの方針です。進んで示しては、市は、一方の市民代表機関である市長と、市議会が相和して両輪がおのおのその職責を全うしてこそ、市政の円滑な発展を期することができるといふことを思えば、このことを強調することに大きな意義があると信ずるものであります。

しとしては市の財政力をよく考えたいので、その補修を優先的に進めたい。二、学校、道路等既存設備が大変

三、行政各面の刷新を行い、能率体制を確立する。

四、幹線道路の舗装を促進する。

五、商工業発展策をおしすすめること共に、農業近代化の促進をはかる。

わたくしは、勝山市をよりいっそう明るく、より豊かにするために、絶大な御支援を切にお願いして新春のごあいさついたします。

つくしているつもりであります。無論、デモクラシーについて歴史の浅い現在においてはともすれば人類普遍の政治原理に於けることもないではありませんが、しかし、そこは人間の性を信じて、誠意をもって努力し、日本の民主主義の基礎的な役割を果している地方自治を断乎として守っていくと共に市政の発展に貢献したいと思っております。

年首にあたり、お祝辭にあわせて所信の一端を申し上げます。あいさついたします。

かつやま市政の夢を語り合う

山内市長を囲んで……

新春放談

山内市長が三代目の市長に就任されて、初めての迎春です。新市長に託する、みなさんのユメもたくさんあろうかと存じます。そこで係では、山内市長を交えて、お医者さんで、県教育委員の池田茂夫さん、松文産業KK専務の小泉次郎さん、平泉寺郵便局長夫人の大六百合子さんの三名の方々と市政について、いろいろのユメやご意見を話し合っていました。みなさんも、おとそ気分、市の発展策を考えてみて下さい。名案がございましたら、どうぞ市長あてお手紙なり電話でご連絡していただければ、こんなうれしいことはありません。なお放談会の司会は松村総務課長です。

市政に計画性とバランスを

—山内市長—

司会者

みなさん、あけましておめでと
うございます。

きょうは、ひとつおとそ気分
で、みなさん一人一人が市長さ
んになられたおつもりで、元
旦市長々の新春のユメを大いに
語り合っていました。

小泉さん

元旦市長とは、めで
たい辞令ですネ。

(一同大笑)

池田さん

はじめにホンモノの
市長さんにユメをき
きましようか。

大六さん

そうですね、おねが
いします。

山内市長

新春放談の第一号を
承って恐縮です。

これはユメ以前の話になるか
も知れませんが、わたくしとし
ては、もう少し市の行政に計画
性をもたせること、それから
行政にバランスをもたせること
が大切だと思っています。

小泉さん

そうですね、都市計画は一日も
はやくやってほしいですネ。
新国道が一本南北に通っただけ
で、たちまち家や工場や公共施
設ができましたから、マア東西
に通ずる道路を、少くとも三本

(写真は市長の右から池田さん、大六さん、
小泉さん、後向きが松村総務課長)



市長

従来の市の仕事をみますとネ
割合に進んでいる行政と、ヤ
おくられている事業があるわけ
です。いま小泉さんが指摘にな
られた都市計画事業は、おくれ
ている仕事の良い例です。

去年、消防庁舎の位置
の問題で議会で見
わかれチャットもめま
したね。あれなどは、
都市計画がはつきり決
っておれば問題を解決
する基準があるわけ
ですから、水掛論になら
ないですむわけです。
さきほど市の行政に計
画性をもたせるとい
うことは、このよう
なことを指して申し上げ
たのです。

西校を移動して

中央公園に

池田さん

西校を移動して、中央
公園にしてはどうで
すか。

大六さん

火葬場の位置もよくないですネ
市

池田さん

火葬場は早急に移転します。場
所をどこにするかが問題です。
私案ですが、地下に火葬場をつ
くってはどうですか。これから

小泉さん

名案ですネ。それぢや本場に地
下に眠れるというわけですね。
(一同大笑)

市営共同墓地は必要

大六さん

市営共同墓地も考えなくてはな
りませんネ。これは必要ですネ
池田さん
長山公園の裏側などにつくった
らどうですかね。

司会者

放談の内容がチャット沈んでき
たようですが、(一同大笑)
こんどは国県道の舗装問題を少
し……

小泉さん

国県道の舗装、これは早くやっ
てほしいネ。

市長

あと二年で勝山〜福井間は完成
するようです。

池田さん

国県道の舗装で、県当局の頭を
きりかえてほしいんですが……
それはネ、道路をよくするこ
とは究極的には、県の富をふや
すことですヨ。そうならば、観
光観光といって福井〜永平寺間
を先にやるより、勝山間の産業
道路をまずやるのが当然です。

の火災は重油を使いますから悪
臭もなく、場所も左程気にしな
くてもよいんじゃないかと思
います。

何故なら、永平寺の観光客が県へおとす金と勝山で生産する金とは比較になりませんからネ。

小泉さん

どうもありがとうございます。

池田さん

いやお礼はいいですネ。きょうは元且市長の辞令をもらって勝山市長として意見を申し上げているんですから。(一同大笑)

司会者

どうです、小泉さん

ことしの景気は...

大六さん

大変いいんじゃないですか。

小泉さん

いや「大変」というほどでもありませんが、他の業界とくらべてみますとよいですネ。

繊維の方は昔から自由化ですから、昔のマイナスが、いまになってプラスになつています。

池田さん
なるほどネ。

司会者

それではそのプラスになつているところで小泉さん、ことしの実業界のブランはどうですか。何かおありだと思えますが...

小泉さん

これは内緒の話ですがネ。やっぱりいいわいとおきましようや

大六さん

専務さん、男らしくいわれたらどうですか。

池田さん

本場に、そうですネ。

司会者

小泉元且市長の三十八年の十八番かも知れませんヨ。

市長

この際、是非ちよつぱりでもいから披露していただきましよう。

小泉さん

集中攻撃ですナアハハ。じ

道路に全力を

鹿角勝山会長 渡 辺 孝 蔵

カツチャマのみなさん、新年あけましておめでとございませう。

時折勝山へ帰って、郷里の発展ぶりをみて、本場にたのしく思っています。

マ申し上げましょう。しかしまだ夢を見ている段階です。それは、市内の五社が共同で給食センターをつくることと、女子工員の教養を高めるため技芸学校のような教育施設をつくりたいと考えています。

市長

なるほど、さすがに十八番ですネ。本場によいことです。

小泉さん

市長さん、いまほめて下さいましたが、しかし私自身大変よい

ことだと自負しています。

といいますのは、いままでとすると、市内の会社にナワバリ根性というものが時々チラチラしたわけですが、こんどそういう壁を乗り越えて五社が共同で事業をすすめるよう——というところまでいったんですから、ウサギ年にふさわしい飛躍的な発展です。

大六さん

大変よい傾向ですネ。どうぞガンバって.....

司会者

わたくしは市政発展のカギはもつと道路をりっぱにすることだと思ひます。金も相当いることと思ひますが、市民あげてガンバってください。(川崎市新丸子東一ノ七八八)

養林業の方は、どんなものでしょう。

養林業の方は、どんなものでしょう。

市長

政府があれだけ音頭をとってやっているんですから、農産物改修事業はやらなければなりませんネ。いや、やらざるを得ないところまできています。

小泉さん

もう当市でも若い人で農家を

引きついでやっている人は、非常に少ない。当然経営の合理化として共同で、機械を使って、土地を効果的に利用しないことには、農家が自立できないところまできています。

だから当市としては、割合に歩のよい米づくりを合理的な経営でやっていくことですね。

大六さん

たしかにいまの農家は変わりましたネ。

小泉さん

他産業も求人困っているんですから、日本の産業全体からながめても、やるべきですネ。

食糧の自由化も当然出てくると思ひます。考えなくてははいけませんネ。

池田さん

近頃よく「考えるお百姓さん」ということばを見たり聞いたりしますが、わたくしはもつと農産物の生産について考えるところに販売の面をも考える必要があるんじゃないかと思ひます。

この間、農産高校の校長先生に農産簿記や経営学を教えているんですかとときいたら、「イヤ、どうも」という返事で意外に思ひました。

大六さん

たしかにそういう欠点がありますネ。

池田さん

それから、市の植林事業ですがこれはたしかに結構なことでは

しかし、現在でも建築材が木材から鉄に移行している今日、これから五十年先どうなるか——と考へた場合問題ですネ。

園芸樹を造植しては

小泉さん

園芸用の苗木をつくってはどうですか。これはもうかりませう。

市長

植林の治山治水の効用は見逃すことができませんからネ。だから、続けていくべきですネ。

小泉さん

この秋に法恩寺山登つてみましたが、あそここの市有林は大したものですね。しかしスキー場の障害になるんじゃないですか。

市長

問題です。しかし冬季の観光として重要ですから、ひとつ考え

てみましょう。

池田さん

あの辺はこんど白山国立公園になったんじゃないですか。

観光には何んとしても道路ですが、莫大な金があるんですよ。だから市がやるより、観光開発会社にまかせて、やらせるのが経済的ですネ。

池田さん

あんなにいい方がよい

観光開発は会社に

やらせた方がよい

池田さん

あんなにいい方がよい

観光開発は会社に

やらせた方がよい

池田さん

あんなにいい方がよい

観光開発は会社に

やらせた方がよい

池田さん

あんなにいい方がよい

観光開発は会社に

やらせた方がよい

人 結 局 は 何 だ と 言 っ て も

— 大 六 さん —

大六さん
しかし、観光をおこし、市や工場をよくしていくためには、なんと申ししても結局は人間がよくならないで済みます。

市 長

そうです。わたくし一人が、いくら市をよくしようとしても市民全部が、みても市民全部が、そういう意欲をもつてくれないと効果は少ないです。

司 会 者

人づくりは池田首相のスローガンになっていますが、当市にとっても大変大事なことです。

池田さん

どうも戦後の日本人は、倫理のよりどころをつかんでいないのですから、問題ですネ。社会問題の根本的な原因です。西洋では、キリスト教が、心の大きな支えになっていました。

望 起 奮 宗 教 家 の

— 池 田 さん —

からよいもの、日本にはそれがないので、宗教家は大いに奮奮してほしいです。既成仏教はやゝ形式的ですネ。しかし、なかには真剣に考えておられる人もいられるでしょうが、少くないです。

小 泉 さん

たしかにそうです。考えさせられる点が大いにありますネ。こういうことは、日本人全体がもっともっと真剣に考えなくてはならないことです。

大六さん

そういう意味で、市長さん、市の社会教育が大切ですね。

以前から問題になっていましたあの移動公民館は……。

司 会 者

あのく走る公民館でしよう。あれは、勝山市のような地域にはどうしても必要ですね。

市 長

そうです。できれば是非新年度買いたいと思っています。

大六さん

どうぞ、よろしくお願いいたします。

池田さん

大六さん、それじゃ陳情放談になってしまふんじゃないですか(一同大笑)

司 会 者

どうです、みなさん、市長さんに期待することは……。

ウ サ ギ 年 …… の 飛 躍 的 な 発 展 を

池田さん

金のやりくりで、なかなか大変でしょうが、大いに元旦市長の発言をきいていただいて、これからの市政の参考にしてほしいと思います。

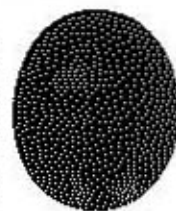
送 寄 百 号 刊 報 廣

▽……市政と市民のみなさんのかけ橋、役といわれる市広報も……
▽……さる二十九年九月十五日の創刊以来、ちょうど今回で百号……
▽……を迎えました。長い間、ご愛読いただいたみなさんに対し……
▽……あつくお礼申し上げます。同時に、よりいっそう、市唯一……
▽……の報道紙として内容の充実をはかっていきたいと考えてい……
▽……ます。ここに、今回まで続けて広報を保存してこられたお……
▽……二人に対し、いろいろご高見を拝聴しました。また、第一……
▽……稿で活躍されておられるジャーナリストの寺前さんに、玉……
▽……稿をおねがいしました。どうぞ、この広報を、ゆく末なが……
▽……く育ててくださいますようお願い申し上げます。……

よ り い っ そ う 工 夫 し て

市政記者クラブ幹事

中日記者 寺前 行雄 (34)



市広報が世に出て九年目になる。この間、編集面で変りはあったようだが、百号まで持ち込んだ関係者の努力は並々でなかろう。

広報を書くことは、新聞記者が記事を書くのと同じ意義と情熱をもたなければできない仕事である。しかし、広報の性質上あまりにも事実と忠実すぎると、興味が半減するからいがないでもない。

市 民 を リ ー ド す る 気 持 で

北谷 斎藤 甚右エ門 (65)



いままで学校新聞、青年会だより、村政だよりなど、いろいろ発行されたが、二、三年で挫折してしまつたものですが、市広報は

いまなお続行されることに敬意を表しています。市民は一般に市政に、うといんですから市政のことは、わかりやすく知らせしてほしい。そして市広報は市民をリードしていく気持で、よりいっそう研究されるよう希望します。(広報永年保存者)

小 泉 さん

ことしはウサギ年でしよう。せめて気持だけでも飛躍的な発展をユメみてがんばって下さい。

大 六 さん

まったく同感でございます。

司 会 者

では、この辺で元旦市長の新春放談を終らせていただきます。ながい間、本当にありがとうございました。

市 長



芳 野 木村 泰蔵 (60)

祈 る 発 展 の そ う い

十九年九月十五日に市広報の第一号を受けとった感激は、いまだに忘れません。市政と市民とを結ぶ唯一のきずなが、市の広報じゃないかと思ひます。

いま一号一号読んでいると市の発展が一目でわかり、大変便利です。これからも、生命の続く限り、広報を愛読しつと保存していくつもりです。市広報の発展を祈ります。(広報永年保存者)

南 校 こ ど も 郵 便 局

南校こども郵便局は、発足後わずか三年で全校児童が加入し、百五十万円も貯金した成績が認められ、このほど金沢郵便局長から表彰されました。

南校こども郵便局は、去年一月発足し毎週貯金デーを設け、子どもが自主的に貯金し、ことしの八月には全校児童八百七十六人が加入、現在では百五十万円をこえる成績をあげ注目されています。

同校のPTAでは、こども郵便局のおかげで、こどもが無駄使いしなくなつたと喜んでます。

なお、こども郵便局に全校児童が加入している学校は、市内では南校と平泉学校の二校だけです。

南校こども郵便局は、発足後わずか三年で全校児童が加入し、百五十万円も貯金した成績が認められ、このほど金沢郵便局長から表彰されました。

市の財政事情はこうです

昭和37年度上半期

一般会計

あくまで健全財政を堅持

税収入は順調です

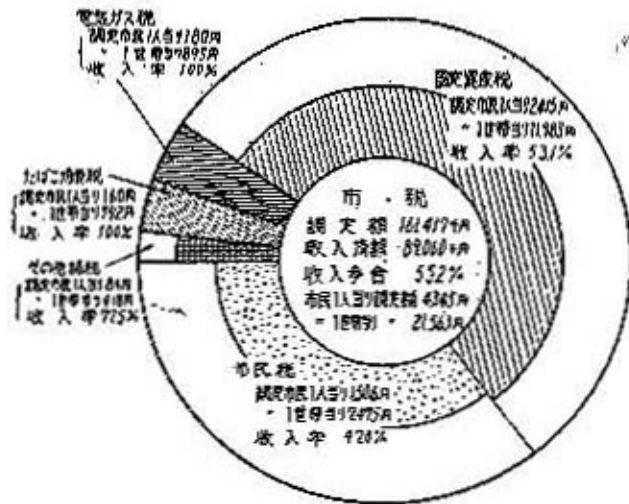
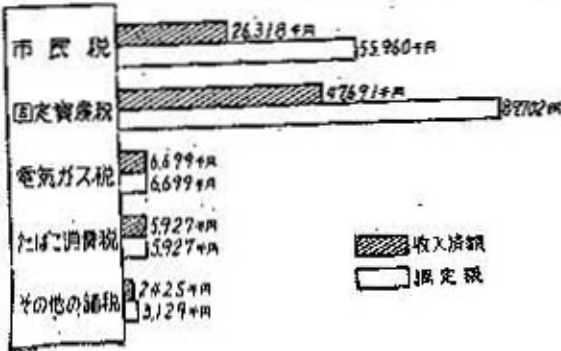
本年度の当初予算額は、三億七千七百二十八万八千二百円で、前年度からの消防庁会予算繰越額千二百万円及び六月の追加更正予算額三千四百四十九万五千三百円を加え、九月末の予算総額は四億二千三百七十八万三千五百円です。

これに対し収入済額は一億五千九百六十一万六千三百六十六円、支出済額は一億五千五百四十四万二千三百六十六円で差引四百十七万四千四百円です。

歳入歳出の各款別内訳は第一表のとおりです。市税の収入状況は第二表のとおりで、九月末現在の調定総額は一億六千四百一十一万七千円、これに対し収入済額は八千九百六十六万円

収入率は五五・二%で順調な収入を示しています。これは、ひとえに市民のみなさんのご協力によるものです。深く感謝申し上げます。深く感謝申し上げます。中し上げます。歳入全般については、上半期のことであり、市税、地

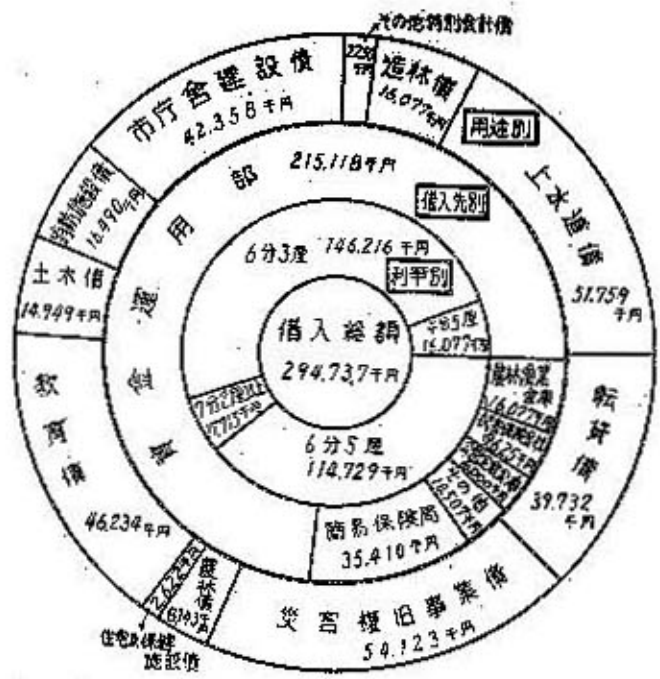
第二表 市税収入状況



方交付税が収入済額の七九・五%でその大部分を占め、他は前年度繰越金等でありますが、事業の進捗等に従い、国庫補助金、市債等は今後下半期に入ってくることとなります。支出のうち、主な事業費は次の通りです。

- 消防施設整備 二、〇五九
- 道路等新設改良 七二四
- 都市計画 一五五
- 教育施設整備 七一一
- 社会及衛生施設整備 三二六
- 産業振興対策(用水等) 六八九
- 災害復旧費 八九五

(歳入)		第二表 一般会計予算及收支の状況(昭和37年9月30日現在)		(歳出)	
15,000	8,900	歳入	歳出	1,000	7,000
10,000	5,500	市税 (39.9%)	歳入	2,000	4,000
5,000	3,791	地方交付税 (13.0%)	歳出	3,000	5,000
4,000	3,056	公営企業収入 (1.9%)	歳出	4,000	6,000
3,000	2,849	国庫補助金 (9.2%)	歳出	5,000	7,000
2,000	2,431	地方債 (1.5%)	歳出	6,000	8,000
1,000	2,202	国庫支出金 (11.1%)	歳出	7,000	9,000
	7918	市債 (11.9%)	歳出		
	47,140	新設金 (0.9%)	歳出		
	50,452	繰入金 (0.7%)	歳出		
		繰越金 (3.4%)	歳出		
		雑収入 (2.3%)	歳出		
		市債 (9.7%)	歳出		
			歳出		



第四表 公債費(用途別、借入先別、利率別)現在額 (昭57.9.30)

各特別会計の予算及び収支済額は第三表のとおりです。
基本財産造成事業会計は将来に備え財源確保のため市有林の造成を行なうもので、本年度の新植造林は二十四・五ヘクタールです。
奨学資金会計では九月末現在大學生九名、高校生七名に対し月額三万九千円を貸付けています。
簡易水道会計は片瀬、大袋、橋神谷、大矢谷の各簡易水道の維持管理を行なうほか、将来に備え積立総額は十四万五千七百五十七円になっています。

上水道建設及び給水会計は三十六年度から繰延べられた事業として三十七年度に配水池(容量一千方米)、送水管四百七十一米、配水管五千五百三十五米を建設し現在全事業が完了しています。九月末における給水戸数は千二百五十戸となっています。
国民健康保険会計は事業会計と鹿谷、北谷の各直営診療所会計が一体となって運営されていますが過去の赤字は三十六年度末で解消し堅実な歩みを続けています。
公共用地造成会計は三十七年度においては前年度繰上充用の外、勝山総合病院移転新築用地及び旧専売公社敷地の造成を行うものでその財源として市有地の一部売却

第三表 特別会計予算及び收支の状況 (単位千円)

会計別	区分	歳入歳出 予算額	収入済額	支出済額	差引残額
基本財産造成事業費		9,685	399	2,932	△ 1,533
奨学資金		390	288	179	109
簡易水道事業費		410	109	119	△ 10
上水道建設事業費		42,600	2,000	28,918	△ 26,918
上水道給水事業費		25,000	4,862	13,709	△ 8,847
国民健康保険事業費		45,262	19,034	14,527	4,507
同 鹿谷直営診療所勘定		4,090	2,485	2,034	451
同 北谷直営診療所勘定		2,274	1,002	1,053	△ 51
公共用地造成事業費		17,601	—	14,272	△ 14,272

財産と公債
九月末における市債の状況は第四表のとおりです。
一時借入金は三千五十万円で、起債前借二千万円は、政府資金分で、長期債に借換えて

を予定しています。
(公債)
いくもんです。
なお、市有財産は下記のとおりです。
以上が三十七年度上半期の財政事情のあらましですが、今後も健全財政維持の線にそい、さらに積極的な事業投資を進めていくつもりです。
何卒市民のみなさんのご協力をお願いいたします。

- (財 産)
- 不動産の部
 - 建築物
 - 市役所出張所
 - 一、四六二坪 (四、八三五坪)
 - 小中学校
 - 一三、八六四坪(四五、八四三坪)
 - 市営住宅
 - 一、〇二四坪 (三、三八五坪)
 - その他
 - 一、七三七坪 (五、七四二坪)
 - 計 一八、〇九〇坪(五九、八〇四坪)
 - 敷地面積 市役所学校住宅等の敷地
 - 三六、八一〇坪(一一、六九七坪)
 - 宅地面積
 - 二〇、六四七坪 (六八、二五八坪)
 - 山林面積(倉庫容積)
 - 一、八三三町 九町六畝二八歩
 - (一、八一七、九四ヘクタール)
 - その他の土地 雑種地、砂防地等
 - 一九町九畝五畝一五歩
 - (一九、七九ヘクタール)
 - 口、有価証券
 - 砂防会館建設出資証券
 - 五〇〇,〇〇〇円
 - 電信電話債券
 - 一三〇,〇〇〇円
 - 積立金
 - 国民健康保険積立金 二二八、八五九円
 - 奨学資金積立金 一、一一〇,〇〇〇円
 - 巡回文庫積立金 五〇〇,〇〇〇円
 - 簡易水道積立金 一四五、七五七円
 - 造林関係
 - 造林関係 一八三七、九ヘクタール
 - 造林関係 一億五千三百四十四円

とじておきましよう